

農芸同窓會會報

ご挨拶

同窓會會長 大泉 源之



同窓会会員の皆様は
ご健勝でお過ごしのこと
とお喜び申し上げます。

笑顔と感動のある 学校をめざし

校長 竹森 淳一



今年もあわただしく過ぎ去ろうとしておりますが、同窓会員の皆様におかれましては、お元気でご活躍のこととお喜び申し上げます

さて、ご挨拶が遅れました。ですが、私は今年の4月に、この伝統ある四日市農芸高校に着任させていただきました。宜しくお願ひいたします。

私はとりまして四日市農芸高校は、6年前まで9年間、教諭として勤めさせていただいた思い出深い学校であります。今、再び本校で

勤務をさせていたたいていに、ことに深い縁を感じるとともに、その責任の重さを痛感しているところですが、教職員とともに本校の発展のため精一杯努力していく所存でございますので、合わせて同窓会の皆様方のお力添えをぜひいただきたいと思つています。

かれ環境マネジメントシステム認証の取得、学校公園化事業の推進、学科改編、新農場の造成、キャリア教育や起業・ベンチャー教育の充実、開かれた学校づくりを進めるための地域連携事業の強化と、さまざまな取り組みを進められ、素晴らしい学校環境を整えて頂きました。それに呼応するように、四日市農芸高校で学ぶ生徒たちは、しっかりと挨拶ができる、自信と目的を持つて明るく生き生きとした高校生活を送っています。私はこれまでの取り組みを継承しつつ

ついでに「層生徒たち
人ひとりが輝く学校ぐ
くりをおこない、「笑顔
と感動のある学校」に
していきたいと考えて
います。

今年度の生徒の活躍
ぶりの詳細は、この後の
坂倉教頭の「光り輝く
農芸生」の欄をお読み
いただきたいと思います
が、農業クラブや家
庭クラブの活躍、校外の
コンクールへの積極的な
参加と入賞、近隣地域
との積極的な連携行事
多くのクラブの入賞と
その成果には目を見張
るものがあります。

ところで、同窓会員
の皆さんに大変応援を

していただいたおりましたラグビー部ですが、去る11月23日、鈴鹿フットボールーツガーデンにおいて朝明高校と決勝戦を行いました。18対0というスコアで見事3年ぶり16回目の花園出場を決めました。今年は県総体優勝、東海総体優勝、農芸を主体としたチーム編成による国体で5位と安定した結果を残してくれました。しかし、大きなプレッシャーがかかる中、花園をかけた選手権大会でもしっかりと結果を出してくれました。なんといつも嬉しかったのは500名近い生徒が

応援に参加するどもに、多くの同窓生の方も来ていただき、一体感を持った応援ができたことです。このことも勝利につながった要因でありますと確信しています。ぜひ年末には花園に駆けつけていただき、ともに応援させていただければと思っています。さらに三重県勢としては初めてBシードに指定されるという評価を受けました。つきましては、長期の滞在が予想されます。何卒資金援助のご協力を宜しくお願いいたします。

A vibrant red camellia flower with a yellow center and several green leaves is shown against a light blue background with white brushstrokes.

と笑顔のある四日市豊
芸高校を目指して教
職員一同全力で取り組
みます。引き続き温か
いご支援のほどよろし
くお願い申し上げます。
最後に、同窓会員の皆
様方がよき新年を迎
えられますとともに
更なるご活躍をお祈り
申し上げ挨拶とさせて
いただきます。

指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

動も積極的に取り組んでいるようです。

動など盛んであります。スポーツの部活動におけるラグビーフットボール部は全国的にも有名であり、家庭クラブも実績をあげています。各地域での貢献活動

編集・発行
三重県立四日市農芸高校
同窓会事務局
〒510-0874
四日市市河原田町2847
TEL 059-345-5021
FAX 059-345-6006



光り輝く農芸生

教頭 坂倉 忠里



同窓会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申しあげます。また、本校教育活動に温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

き、「賞味ください。家庭クラブでは、三重県ホームプロジェクトコンクールで、昨年に引き続き本校生徒が最優秀賞を受賞したほか、「伊勢志摩お弁当選手権」で「サークルKサンクス賞」と「ぎゅーとら賞」をダブル受賞しました。近々、両社が商品化し、各々の店舗で限定販売される予定です。また、浴衣の染色・縫製に取り組んでおり、2名の生徒の作品が社団法人日本和裁士会主催の「第22回きもの作品コンテスト」で優秀賞を受賞しました。この快挙は、複数の新聞紙上で取り上げていただき、生徒たちの励みになりました。

今年も様々な地域連携に積極的に取り組みました。例えば、河原田小学校児童との合同での田植え・イネの観察・イネ刈りでは、小学生を高校生らしく逞しくリードして実習指導してくれました。休みには、主として生活文化科生徒たちが地域の子どもたちを対象として、お菓子や王ビール、ストラップ作り

などの講習を行いました。これらの取り組みは、小さな子どもたちに農業や家庭科の学習に興味を持つてもらう意味と、生徒にとっても日常の学習をより深める意味で大切な機会捉え、今後も続けていきたいと考えております。その他、地元河原田地区の皆様とは、ミュージックベル、お弁当のデイサービス、マコモの田植え、園芸教室など親しまれている取り組みを続いているところです。

一方、3月の東日本大震災を受けて、災害時における高校生の防災や減災に果たす役割の重要性がクローズアップされしております。そうした中、河原田地区で地区住民と学校関係者及び消防関係者が体となつた避難訓練の話が浮上し、本年9月9日に本校を最終避難所として、およそ1,400名が参加するという大規模な訓練が行われました。本校として、生徒たちの専門性や学校の持つ教育力、教育施設等を全面的に活かす形で訓練にのぞみました。特に生徒たちが、地域住民や小学生及び保育園児らの避難誘導、負傷者等の搬送、救急法の講習、炊き出し訓練な

生活文化科の近況報告

家庭科主任 杉野 仁美

今年多くのコンクール、コンテストで入賞しています。また、地域連携事業も様々な分野で実施しております。地域連携は、関連産業で活躍できる人材育成の一環として、地域の方々にご協力いただきながら生徒達の学力と人間性を育む活動となっています。

入賞者紹介

- 第22回きもの作品コンテスト
近畿経済産業局長賞 (3年) 大村 美穂さん
日本絹人織織物工業会会长賞 (3年) 真田 実果さん
 - 第8回三重県ホームプロジェクトコンクール
最優秀賞 (1年) 雲井 菜月さん
優秀賞 (2年) 杉田 知優さん (3年) 堀 彩奈さん
(1年) 潤古 めぐみさん (1年) 新保 公子さん
(2年) 堀田 和佳菜さん (2年) 楠田 千秋さん
 - 第55回三重県家庭クラブ連盟研究発表大会
優秀賞 (2年) 森 夏輝さん
 - 毛糸編み物技能検定
優 良 (2年) 土田 千湖さん
 - おさかな料理コンクール
アイデア賞 (3年) 矢田 あゆみさん
入 選 (3年) 蔵田 真子さん (2年) 安達 晴香さん
 - 第3回美し国伊勢志摩食彩フェア お弁当選手権
株式会社ぎゅーとら賞 (2年) 堀田 和佳菜さん
サークルKサンクス賞 (2年) 堀田 和佳菜さん
キリンビバレッジ賞 (3年) 田中 晶子さん
鳥羽料理研究三重三料会顧問三ツ矢憲生賞 (3年) 高木 春菜さん
美し国伊勢志摩賞 (2年) 中西 加奈さん
美し国伊勢志摩賞 (2年) 西村 優花さん
 - H23食肉惣菜創作発表会三重大会
努力賞 (3年) 安達 楓さん
ドリーム賞 (3年) 安達 楓さん
 - 第3回かむかむクッキングコンクール
おやつ部門 優秀賞 (2年) 山下 楓加さん
 - 第2回高校生スイーツコンテスト
特別賞(三重のみえっぽり賞) アイデア賞
(3年) 大山 絵梨さん (3年) 久保田 果歩さん
デザイン賞 (3年) 蔵田 真子さん (3年) 茨木 美帆さん
 - 米粉を使った調理レシピコンクール
特別賞 (3年) 横村 未優さん (3年) 服部 由紀さん



地域連携

- デイサービス（年間6回）
 - Agriロマン四日市の皆さんからの授業
 - いきいきサロンへの参加
 - 河原田セミナー
 - ミュージックベル交流会
 - 学童保育所体験実習

などの講習を行いました。これらの取り組みは、小さな子どもたちに農業や家庭科の学習に興味を持つてもらう意味と、生徒にどうでも、日常の学習をより深める意味で大切な機会と捉え、今後も続けていきたいと考えております。その他、地元河原田地区の皆様とは、ミュージックベル、お弁当のデイサービス、マコモの田植え、園芸教室など、親しまれている取り組みを続けているところです。

一方、3月の東日本大震災を受けて、災害時における高校生の防災

などに主体的に参加することで、本校生として災害時に何ができるかを考え、実践するための貴重な体験となりました。

部活動においてもたくさんのお実績を残してくれました。県高校総体において、柔道の個人戦で東海総体に出場したほか、女子バレー部、女子バドミントン部がベスト8に入りました。また、男子バスケットの1年生大会で、見事に初優勝しました。秋季大会では、卓球部男子、バスケット部男子、バレー部女子、バドミント

ン部女子が、ベスト8入りしました。本校の生徒たちの良いところは、頑張っている友達をたたえ合い、応援しあえることだと思います。その象徴的なことが、夏の野球県大会ではないでしょ？か。初戦にもかかわらず、バス6台に分乗した大応援団が津球場に詰めかけ、選手たちに大声援を送りました。強豪の津東高校（主戦投手が、中日球団にドラフト会議で指名）に対し、試合は惜敗しましたが、グランドとスタンドが一体となつた接戦の好ゲームを演

次に、ラグビー部の活躍について触れさせていただきます。昨年の決勝で木本高校に2点差で敗れて以来、先日の決勝戦に勝つために、部員たちは言葉では表せない努力をしてきたことと思います。決勝戦直前に、ある新聞で、農芸は「今季県内無敵の強さ」と報じられました。まさにそのとおりの実績を残してくれました。しかし、「一発勝負の決戦に必ず勝つという保障はどこにもありません。それだけに、選手たちは、プレッシャー

とのたたかいをかな
感じていたと思われ
ます。スタンドには多く
卒業生のみなさんを
見かけしました。決
して独特の重苦しい雰囲
の中、あの大支援が、
利をもたらす要因の
一つであつたことは間違
りません。ほんと
に応援ありがとうございます。
いました。年末年始
花園では、伸び伸び
したプレーで農芸旋
を巻き起こしてくれ
ことを期待しています
どうか、応援並びに
支援をいただきます
します。



最後に、私自身、はな
はだ微力ではございま
すが、一層生徒たちの光
り輝く農芸高校になる
よう努力を重ねて参る
所存ですので、どうか
よろしくお願ひ申し上
げます。

昨年の決勝戦、四日市農芸ラグビー部は、古豪木本高校に五対七という僅差で敗れ、この二十二年間で初めて、二年連続で花園出場を逃してしまいました。ですから、今年のチームは誰も、花園の芝を踏んだ経験が無く、それ

心配をよそに、二月の新人戦、五月の県総体と圧勝し、六月の東海



昨年の決勝戦、四日市農芸ラグビー部は、古豪木本高校に五対七という僅差で敗れ、この二十二年間で初めて、二年連続で花園出場を逃してしまいました。ですから、今年のチームは誰も、花園の芝を踏んだ経験が無く、それ

心配をよそに、二月の新人戦、五月の県総体と圧勝し、六月の東海

二つの嬉しかった事

ラグビー部監督 下村 大介

どころか、新人戦、県総体も含め、農芸が優勝する姿を一度も見たことがありませんでした。今の三年生は、中学時代に野球やサッカーで活躍していた者が多く、十人中九人が入っていました。唯一の不安材料は、優勝経験が無い事でした。しかし、そんな

試合当日、選手達に手紙を書きました。内容は「実力は百パーセント上、準備万端、しかし思い通りいかないのが決勝戦。自信を持つて何事にも動じず、全力を出し切れば、必ず歓

ラグビー部 花園16回目の出場

四日市農芸 花園へ



朝明に18-0、3年ぶり

全国高校ラグビー県大会決勝が二十三日、金剛市御園町の県営陸上競技場で行われ、四日市農芸が18-0で朝明を破り、三年ぶり十六回目の優勝を果たした。

(村瀬力)

小雨の中の熱戦の前

半ば逆転後半は

終始、相手陣内で攻め

（三年生）が制御

序盤ピンチを踏ん

張り抜いた四日市農芸

は前半二十分、FW

のライン参加で相手の

守備ラインを突破し

（一ゴール）

スをつかんだが、PG

の失敗や細かなミスで

（一ゴール）で突き放

き、そのまま多く

す」と振り返った。

（阪市近鉄花園ラグビー

一場）開幕する全国大

会に出場する伊藤

祥志樹（大澤）

（えびで慎い）

多かったのが敗因

（阪府東大）

王根栄主将は「チーム

全体が徐々に強くな

ったからと言つても過言

ではないが敗因

（阪府東大）

一方、敗れた朝明の

王根栄主将は「チーム

が苦手で、叱られてば

かりだつた選手が、チー

ムを勢いづけるトライ

をしてくれた事。そし

て生徒五百人を含む千

人の大応援団に喜こん

で、生徒たちも足を運んで

頂けたら幸いです。

（中日新聞 2011年11月24日 朝刊）

喜の時は訪れる。」

十一月二十三日、午後

一時十六分、キックオフ

の笛が鳴りました。案

の定、朝明のディフェンス

に、農芸のエースが徹底

マークされ、なかなか得

点が出来ません。前半

二十八分、均衡を破った

のは、やはりエース達で

した。フォワードリー

ダーティが大きくゲイ

ンし、素早い玉出しから、

デイフェンスの穴を見逃

さず突き、タックルされ

る直前に、サポートして

いた副キャプテン樋口に

パス。樋口はタックルを

受けながらも後ろから

トップスピードで走り

込んできたロック井上

に繋ぎ、二十メートル独

走してゴールポスト中央に見事なトライを決

めてくれました。このト

ライで自信と勢いを取り戻

り戻し、後半は危なげ

ない落ち着いたゲーム

運びで、三年振り十六回目の花園出場を勝ち取った花園。この大会で結果を気にせず自分の前の事に集中して全力でプレーしてほしいと思います。そしておもいつきり楽しんで悔いの残らない大会にしてほしいと思っています。

8年後、ラグビーワールドカップが日本で開催することが決定しています。間違いない今、高校生たちがこのワールドカップの主役になります。間違いない今、高校生で多くの高校生が大きな目標に向かって進んでいくきっかけとなり、日本代表になる選手が出てくることを願っています。そして皆さんの力で農芸のラグビー部、日本のラグビーを盛り上げていきま



花園に思う

平成15年卒業 今村 雄太
(早稲田大卒、神戸製鋼ゴベルコスティーラーズ所属)
(07.11 ラグビーワールドカップ日本代表)



3年ぶり16回目の花園

花園に思ふ

ばせていただきました。

自分が今でも現役のラグビー選手として、また日本代表としてワールドカップに出场できる

喜の時は訪れる。」

十一月二十三日、午後

時

ち取りました。おまけ

に、三重県勢初のB

シード校にも選ばれた

のです。

この事はとても名誉

な事ですが、私が嬉しきつたのは、いつも走るの

が苦手で、叱られてば

かりだつた選手が、チー

ムを勢いづけるトライ

をしてくれた事。そして

花園にも、足を運んで

頂けたら幸いです。

（阪府東大）

本当に心強い応援あり

がとうございました。

花園にも、足を運んで

頂けたら幸いです。

（中日新聞 2011年11月24日 朝刊）

平成23年度 農業学科の近況報告

農場長 森下 善郎

1. 農業クラブ活動の取り組み

7月に行われた県連意見発表会では、3つの区分において最優秀賞1名、優秀賞3名の計4名が入賞しました。最優秀賞の生産技術コース3年瀬古あゆみさんは8月に行われた東海ブロック大会にも出場をし、見事優秀賞に輝きました。プロジェクト研究発表会では、最優秀賞1班、優秀賞2班の計3班が入賞しました。最優秀の生産技術・食品科学合同班が「本校鶏卵のブランド化を目指して」をテーマに東海ブロック大会にのぞみ、優秀賞をいただきました。その功績が認められ、10月に総合文化センターで行われた高校生フェスティバルの学習成果発表会で報告会が行われました。

前年の事に集中し、全力を出し切れば、必ず歓

2. 「みのりの丘マーケット」の取り組み

販売情報コースで「企業家育成」のプログラムを作成し、地域の手作りマーケット「みのりの丘マーケット」活動を平成17年から取り組んできました。7年目を迎えた今年の秋でその活動も60回を越えることとなり、11月30日にはJA河原田の敷地内で記念のイベントが開かれ、昭和初期の発動機を使用した餅つきなどが盛大に行われました。

4月下旬に生産技術コースの生徒、生産系1年生が河原田小の児童を水田に迎え、合同の田植えを行いました。その後も定期的に水田観察も行なってきました。

4. 地元産業界との連携

今年度も夏季休業を中心とした地元の企業25社に御協力いただき、2年生の販売情報コース18名、食品科学コース33名、3年生の環境造園コース23名がインターンシップを行いました。普段の授業や実習で学んだことを実際に現場で体験することで、本物の力を変えることができたのではないかと思います。

5. 農祭

11月12日第63回農芸祭が好天にも恵まれ

盛大に開かれました。生徒が栽培してきた野菜類、米、観葉植物、花や加工製品を販売するテントでは次から次へと飛ぶように売れてきました。また本校卒業生で構成される昭和会

「みのりの丘」に実ったもの

5. 農業祭

の植木、卵、野菜類、加工製品、餅、自然薯等を販売する場所では開始前から買い物客で長蛇の列ができていました。

6. 産業教育振興会作文農業部会長賞受賞

「曲がった野菜ほど栽培した人の気持ちがこもっているんだよ、これは私が幼稚園時代の先生に教わった言葉です」生産技術コース3年弓矢麻由さんは幼稚園時代からの農業とのかかわりを作文にし、見事産業教育振興会農業部会長賞をいただき、全国の審査会に進みました。また生産技術コース3年の川合まださんは毎日新聞社主催の作文コンクールに応募し、地区入賞しました。昨年度も川合さんはこのコンクールで全国優良賞を受賞しており2年連続の受賞となりました。

進路指導部より

進路指導部 主任 岩田礼子

同窓会員の皆様には、ますます健勝でお過ごしのこととお喜び申しあげます。

昨年度(平成22年度)卒業生の進路状況は、別表の通りです。就職においては、この数年間の経済状況の悪化による厳しい雇用情勢のなか、同窓生の方々のお力添えもあり、就職希望者全員が内定することができます。ありがとうございました。

また、進学においては、生徒自身の努力はもちろんのこと、専門教科の先生方や各教科の先生方の課外指導が実を結び、三重大学生物資源学部をはじめ、専門分野(農業分野及び家政分野)への合格者が増えました。専門高校で学んだことを深化させたいと希望する生徒が増えたことは、専門技術者(スペシャリスト)の育成を目指す本校にとっては大きな進歩を感じております。さて、現在三学年の生徒も進路決定に向けて引き続き努力をしております。年度と変わらず厳しい就職に関しては、前

求人状況のなか、現時点でおよそ9割の就職希望者が内定をいたしました。内定を獲得していない生徒もあきらめることなく現在も就職活動を続けております。今後も、すべての生徒が卒業までに就職先が決まるよう努力したいと思っています。その際に

は、同窓生の皆様のご支援を賜ることができれば幸いです。

進学については、特に今年度は国公立大学への希望者が増えました。受験で、基礎学力が問われる内容も多く、夏休みや放課後を返

くことができました。上し、頑張つております。また、専門学校では、はば広い分野に進学しています。安易に進学する選択をするよう心がけています。

事務局だより

平成23年度・人事異動

= ご勇退 =

学 校 長 竹尾 泰先生
講 師(国語) 和手 麻子先生 桑名工業高校へ
講 師(農業) 佐藤 文彦先生 久居農林高校へ
講 師(農業) 佐藤 さゆり先生 伊賀白鳳高校へ
講 師(農業) 檜作 幸司先生 相可高校へ

= 転出 =

教 諭(農業) 三松 正先生 久居農林高校へ
教 諭(英語) 柏木 久美子先生 飯野高校へ
教 諭(家庭) 木村 須美枝先生 朝明高校へ
事務次長 米倉 康之先生 鈴鹿県民センターへ
事 務 市川 泰大先生 北星高校へ

= 転入 =

学 校 長 竹森 淳二先生 津高校より
教 諭(国語) 森 卓俊先生 四日市商業高校より
教 諭(農業) 前田 竜矢先生 上野農業高校より
教 諭(農業) 竹村 保範先生 新規採用
教 実(農業) 森川 巧先生 久居農林高校より
講 師(英語) 石原 真理子先生
講 師(農業) 氏本 敦之先生
事務主幹 相川 好正先生 飯野高校より
事 務 岩木 聖先生 県土整備部より

『創立80周年記念誌』好評継続発売中

同窓会では、創立80周年を記念して平成23年3月に『創立80周年記念誌』を発刊致しました。すでに、多くの会員様にお買い求め頂きありがとうございました。引き続き、好評販売中ですのでお買い求めの方は、是非、同窓会事務局までお問い合わせください。

販売価格・・・1冊 5,000円(送料込み)

【同窓会事務局からの大切なご連絡】

最近、同窓会事務局以外のところから、同窓会又は同窓会事務局と名乗り卒業生(会員の情報を聞き出す)という事が頻繁に起きており、というご連絡を幾度も頂いています。同窓会からの電話調査や聞き取りは、一切致しておりますので、お間違いのないようにご注意をお願いいたします。

【会員のみなさまより会報の原稿を募集します】

同窓会報への原稿を募集しています。会員唯一の情報機関誌へ「会員みなさまのページ」を計画しております。「高校時代の思い出、近況報告、写真」等をお寄せ下さい。(次号会報の原稿締切は、平成24年9月末日です。ぜひ事務局まで。)

せひ!
ご利用ください

【農産物(実習製品)販売所のご案内】

農芸高校では、生徒の実習成果による農産物(実習製品)を校内で販売しております。(季節によって、新米、野菜、卵、草花、観葉植物、ジャム類、味噌など)

販売場所: 農業理科棟(新館)1階中央の販売所

販売日時: 毎週月曜日と木曜日(午後2時~4時まで)

*学校行事等で休みとなる場合もありますので、お越しの際は、学校ホームページまたは、学校までお問い合わせください。

ご声援ありがとうございます

県大会でのたくさんの応援ありがとうございました。
引き続き、全国大会へのご声援・ご支援よろしくお願いします。

